

正誤表 中期目標の達成状況報告書

富山大学

	頁数・行数等	誤	正
1	7頁・10行目	自校学授業「富山学－わたしの富山(2)」(集中講義)を・・・	自校学授業「富山学－わたしの富山」(集中講義)を・・・
2	8頁・ 下から7行目	「富山学－わたしの富山(2)富山大学学」を開講し、・・・	「富山学－わたしの富山」を開講し、・・・
3	9頁・7行目	<u>想像力</u> ある人材	<u>創造力</u> のある人材
4	16頁・10行目	知識と技術を <u>生</u> かす	知識と技術を <u>活</u> かす
5	19頁・ 下から6行目	授業評価アンケートで各学部の満足度調査で、	授業評価アンケート <u>の</u> 各学部の満足度調査で、
6	29頁・9行目	ライブラリーを新設し、TOEIC, TOEFL, IELTS, 学術英語のCD <u>つき</u> 参考書・・・	ライブラリーを新設し、TOEIC, TOEFL, IELTS, 学術英語のCD <u>付き</u> 参考書・・・
7	33頁・15行目	学部 <u>ごと</u> に、	学部 <u>に</u>
8	34頁・ 下から7行目	<u>導入</u> とともに ALC ネットアカデミー(ネットワーク環境を利用して行う外国語自習システム) <u>の</u> TOEFL	<u>導入する</u> とともに ALC ネットアカデミー(ネットワーク環境を利用して行う外国語自習システム) <u>の</u> <u>充実</u> や TOEFL
9	37頁・ 下から3行目	機関リポジトリ <u>・</u> システム	機関リポジトリシステム
10	38頁・3行目	キャンパスの図書館	<u>3</u> キャンパスの図書館
11	39頁・ 下から4行目	<u>多く</u> 科目が開講された	<u>多くの</u> 科目が開講された

	頁数・行数等	誤	正
12	40 頁・ 資料 18-1	(第 4 回) <u>橋本</u> 教授	<u>橋本勝</u> 教授
13	43 頁・ 資料 19-1 医学部の欄	<u>入学式時に</u> の学士課程	<u>入学時の</u> 学士課程
14	43 頁・ 資料 19-1 芸術文化学部の欄	<u>合わせて</u> (2 行目, 3 行目)	<u>併せて</u> (2 行目, 3 行目)
15	43 頁・ 下から 5 行目	単位 <u>取得</u> 状況	単位 <u>修得</u> 状況
16	44 頁・ 資料 19-2 経済学部の欄	学修指導に <u>生かす</u> ため	学修指導に <u>活かす</u> ため
17	44 頁・ 資料 19-2 医学部の欄	コーチング <u>補修</u> 授業	コーチング <u>補習</u> 授業
18	50 頁・ 資料 22-3	(2)企業実務研修 日程・訪問企業等 <u>後援企業</u>	<u>講演企業</u>
19	63 頁・11 行目	実施している <u>おり</u>	実施しており
20	64 頁・ 下から 7 行目	となっている <u>る</u> 。	となっている。
21	77 頁・資料 32-5	(平成 24 年度シンポジウム) (3 段目) 自然科学 <u>延久</u> 機構	自然科学 <u>研究</u> 機構
22	81 頁・資料 33-3 (3 段目)	幹細胞の機能制御を目的とした <u>性材料</u> の設計	幹細胞の機能制御を目的とした <u>キメラ</u> <u>タンパク質製生理活性材料</u> の設計
23	83 頁・資料 35-1	(学術研究用設備 <u>マスター</u> プラン)	(学術研究用設備 <u>整備</u> マスタープラン)

	頁数・行数等	誤	正
24	84 頁・6 行目	学術研究用マスタープラン	学術研究用 <u>設備整備</u> マスタープラン
25	88 頁・17 行目	新しい創薬方法論と疾病治療戦略 <u>の</u> 創 生	新しい創薬方法論と疾病治療戦略 <u>を</u> 創 生
26	88 頁・28 行目	文部科学省 <u>若手</u> 科学者賞	文部科学 <u>大臣表彰</u> 若手科学者賞
27	93 頁・ 下から 1 行目	満足度が高いことが <u>伺える</u> 。	満足度が高いことが <u>窺える</u> 。
28	104 頁・ 資料 41-2	(高岡高校の欄・教員派遣数) 工学部 1 名	工学部 1 名 <u>芸術文化</u> 学部 1 名
29	106 頁・12 行目	<u>各学部</u> が小中学生が興味を持つ	<u>各学部において</u> 小中学生が興味を持つ
30	107 頁・12 行目	富山の <u>知</u> で培った <u>地</u> の資源	富山の <u>地</u> で培った <u>知</u> の資源
31	112 頁・ 下から 2 行目	相応な成果を <u>得</u> ている。	相応な成果を <u>得</u> ている。
32	115 頁・ 下から 4 行目	平成 25 年度より継続開催 <u>しており</u>	平成 25 年度より継続開催 <u>している</u>
33	121 頁・資料 48-4	(行：スウェーデン) (列：平成 26 年度) <u>1</u>	<u>2</u>
34	121 頁・資料 48-4	(行：部局間協定) (列：平成 26 年度) <u>24</u> (10)	<u>25</u> (10)
35	123 頁・ 下から 9 行目	生命融合科学部	生命融合科学 <u>教育</u> 部
36	126 頁・資料 51-2	出典： <u>国際交流課</u> 資料	出典： <u>留学支援課</u> 資料

	頁数・行数等	誤	正
37	127 頁・資料 51-3	出典： <u>国際交流課</u> 資料	出典： <u>留学支援課</u> 資料
38	128 頁・資料 51-4	出典： <u>国際交流課</u> 資料	出典： <u>留学支援課</u> 資料

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（教育）

富山大学人間発達科学部

	頁数・行数等	誤	正
1	3-21 頁・8 行目	<u>北陸</u> ・東海地区で <u>86.0</u> ～91.2%	<u>東海</u> ・ <u>北陸</u> 地区で <u>83.1</u> ～91.2%

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（教育）

富山大学人間発達科学研究科

	頁数・行数等	誤	正
1	4-6 頁・ 資料 1-1-5	平成 27 年度 女性教員 15 教員計 <u>65</u> 比率 23%	平成 27 年度 女性教員 15 教員計 <u>64</u> 比率 23%
2	4-6 頁・ 資料 1-1-6	教員数 経験教員 教員比率 平成 27 年度 <u>65</u> <u>12</u> <u>18.5%</u>	教員数 経験教員 教員比率 平成 27 年度 <u>64</u> <u>11</u> <u>17.2%</u>
3	4-6 頁・ 資料 1-1-6 枠外	<u>平成 27 年教員数には教職大学院前倒し 教員（1 名）を含む</u>	<u>（削除）</u>
4	4-7 頁・7 行目	採用前研修など取組んでいる。	採用前研修などに <u>取</u> 組んでいる。
5	4-21 頁・7 行目	平均 <u>71%</u> （57～ <u>87%</u> ）	平均 <u>66%</u> （57～ <u>75%</u> ）
6	4-23 頁・8 行目	平均 <u>71%</u> （57～ <u>87%</u> ）	平均 <u>66%</u> （57～ <u>75%</u> ）
7	4-27 頁・ 下から 5 行目	平均 <u>71%</u> （57～ <u>87%</u> ）	平均 <u>66%</u> （57～ <u>75%</u> ）

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（教育）

富山大学経済学研究科

	頁数・行数等	誤	正
1	6-31 頁・12 行目	進路にも生かされていることが <u>伺える</u> 。	進路にも生かされていることが <u>わかる</u> 。

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（教育）

富山大学生命融合科学教育部

	頁数・行数等	誤	正
1	7-8 頁・ 資料 1-1-6 14 行目	<u>押</u> し進める	<u>推</u> し進める

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（教育）

富山大学医学薬学教育部

	頁数・行数等	誤	正
1	10-3 頁・ 表C 18 行目	MedicalResearchTraining	Medical Research Training ※半角スペースを入れる。
2	10-12 頁・ 資料 1-1-6 6 行目	開発能力が <u>身</u> につけている。	開発能力 <u>を</u> 身につけている。
3	10-27 頁・ 資料 1-2-12	(選択科目) <u>体</u> 防御医学	<u>生</u> 体防御医学

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（教育）

富山大学理学部

	頁数・行数等	誤	正
1	11-17 頁・13 行目	資料 1 - 2 - 13 (P11- <u>15</u> )	資料 1 - 2 - 13 (P11- <u>16</u> )
2	11-17 頁・15 行目	資料 1 - 2 - 9 (P11- <u>13</u> )	資料 1 - 2 - 9 (P11- <u>14</u> )

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（教育）

富山大学工学部

	頁数・行数等	誤	正
1	12-9 頁・11 行目	平均で3を超えることから <u>伺え</u>	平均で3を超えることから <u>窺え</u>

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（教育）

富山大学理工学教育部

	頁数・行数等	誤	正
1	13-3 頁・12 行目	特色は資料 F とおりである。	特色は資料 F <u>の</u> とおりである。
2	13-27 頁・6 行目	質保障システム	質保証システム
3	13-41 頁・10 行目	平成 25 年度試行 <u>字</u> に参加	平成 25 年度試行 <u>時</u> に参加
4	13-42 頁・33 行目	資料 1 - 2 - <u>22</u> に技術経営関連科目	資料 1 - 2 - <u>24</u> に技術経営関連科目
5	13-43 頁・6 行目	資料 1 - 2 - <u>17</u> には、	資料 1 - 2 - <u>19</u> には、
6	13-43 頁・ 資料 1 - 2 - 17	資料 1 - 2 - <u>17</u> 修士課程（理学領域） の特色ある授業の例	資料 1 - 2 - <u>19</u> 修士課程（理学領域） の特色ある授業の例
7	13-43 頁・ 下から 1 行目	資料 1 - 2 - <u>18</u> , 1 - 2 - <u>19</u> に、	資料 1 - 2 - <u>20</u> , 1 - 2 - <u>21</u> に、
8	13-43 頁・ 資料 1 - 2 - 18	資料 1 - 2 - <u>18</u> シラバス（理学領域） の構成	資料 1 - 2 - <u>20</u> シラバス（理学領域） の構成
9	13-45 頁・ 資料 1 - 2 - 19	資料 1 - 2 - <u>19</u> シラバス（工学領域） の例	資料 1 - 2 - <u>21</u> シラバス（工学領域） の例
10	13-46 頁・10 行目	国際会議での <u>プ</u> リゼンテーション	国際会議での <u>プレ</u> ゼンテーション

	頁数・行数等	誤	正
11	13-46 頁・13 行目	採用している（資料 1-2- <u>20</u> ）。	採用している（資料 1-2- <u>22</u> ）。
12	13-46 頁・ 資料 1-2-20	資料 1-2- <u>20</u> 大学院生の TA, RA の採用実績	資料 1-2- <u>22</u> 大学院生の TA, RA の採用実績
13	13-47 頁・ 資料 1-2-21	資料 1-2- <u>21</u> ゼミナールのシラバス記載例（物理学専攻）	資料 1-2- <u>23</u> ゼミナールのシラバス記載例（物理学専攻）
14	13-47 頁・ 資料 1-2-22	資料 1-2- <u>22</u> 技術経営関連科目のシラバス	資料 1-2- <u>24</u> 技術経営関連科目のシラバス
15	13-49 頁・1 行目	成果例を資料 1-2- <u>23</u> に示す。	成果例を資料 1-2- <u>25</u> に示す。
16	13-49 頁・ 資料 1-2-23	資料 1-2- <u>23</u> 国際交流への学生の参加状況（例）	資料 1-2- <u>25</u> 国際交流への学生の参加状況（例）
17	13-49 頁・10 行目	身に付けさせてきた。（資料 1-2- <u>24</u> ）	身に付けさせてきた。（資料 1-2- <u>26</u> ）
18	13-49 頁・ 資料 1-2-24	資料 1-2- <u>24</u> アカデミックライティング実績（平成 23 年度～平成 25 年度）	資料 1-2- <u>26</u> アカデミックライティング実績（平成 23 年度～平成 25 年度）
19	13-50 頁・9 行目	次世代スーパーエンジニアコース	次世代スーパーエンジニア <u>養成</u> コース
20	13-93 頁・ 下から 15 行目	回答したことからも <u>伺える</u> 。	回答したことからも <u>窺える</u> 。

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（教育）

富山大学芸術文化学研究所

	頁数・行数等	誤	正
1	15-3 頁・表 D	・平面造形・立体造形・メディアアート制作などの多様な芸術表現に関する科目から成る「造形表現	・平面造形・立体造形・メディアアート制作などの多様な芸術表現に関する科目から成る「造形表現」

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（研究）

富山大学人間発達科学部・人間発達科学研究科

	頁数・行数等	誤	正
1	2-3 頁・1 行目	分析項目Ⅰ 研究活動の状況	分析項目Ⅰ 研究活動の状況 <u>観点 研究活動の状況</u>
2	2-10 頁・1 行目	分析項目Ⅱ 研究成果の状況	分析項目Ⅱ 研究成果の状況 <u>観点 研究成果の状況</u>

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（研究）

富山大学経済学部・経済学研究科

	頁数・行数等	誤	正
1	3-2 頁・11 行目	<u>2</u> 経済学部・経済学研究科の特徴	<u>3</u> 経済学部・経済学研究科の特徴

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（研究）

富山大学薬学部

	頁数・行数等	誤	正
1	5-9 頁・ 資料 2-1-3	資料 2-1-3 年度別各賞受賞状況 (年 度) 平成 27 年度 (教員名) <u>藤井拓人</u> (職 階) <u>助教</u> (受賞名) <u>日本生理学会 入澤宏・彩記念若手研究奨励賞</u>	(削除)

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（研究）

富山大学医学薬学研究部

	頁数・行数等	誤	正
1	6-15 頁・ 資料 2-1-3	資料 2-1-3 医学薬学研究部年度別各賞受賞状況 平成 27 年度 <u>26</u> 件	平成 27 年度 <u>25</u> 件
2	6-18 頁・ 資料 2-1-3	資料 2-1-3 医学薬学研究部年度別各賞受賞状況 (年 度) 平成 27 年度 (受賞者) <u>藤井拓斗</u> (受賞名) <u>日本生理学会 入澤宏・彩記念若手研究奨励賞</u>	(削除)
3	6-18 頁・9 行目	和漢医薬学会賞 ( <u>2</u> 名)	和漢医薬学会賞 ( <u>1</u> 名)
4	6-20 頁・6 行目	和漢医薬学会賞 ( <u>2</u> 名)	和漢医薬学会賞 ( <u>1</u> 名)
5	6-20 頁・7 行目	日本薬学会薬学会賞 ( <u>2</u> 名)	日本薬学会薬学会賞 ( <u>1</u> 名)

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（研究）

富山大学理学部

	頁数・行数等	誤	正
1	7-8 頁・7 行目	資料 1-1-5, p 7- <u>6</u> )	資料 1-1-5, p 7- <u>7</u> )
2	7-11 頁・5 行目	新規採択率は平均 45%	新規と継続の合計採択率は平均 45%
3	7-11 頁・8 行目	( <u>教員の現員数</u> ÷ <u>計画書提出数</u> ×100)	( <u>計画書提出数</u> ÷ <u>教員の現員数</u> ×100)
4	7-11 頁・16 行目	( <u>研究業績リスト I 表</u> )	( <u>研究業績説明書</u> )

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（研究）

富山大学工学部

	頁数・行数等	誤	正
1	8-10 頁・10 行目	世の中に貢献している状況が伺える。	世の中に貢献している状況が窺える。
2	8-33 頁・6 行目	第1期中期目標 <u>中期計画</u>	第1期中期目標 <u>期間</u>
3	8-35 頁・19 行目	社会・安全 <u>システ</u> 科学では、	社会・安全 <u>システム</u> 科学では、

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（研究）

富山大学理工学研究部

	頁数・行数等	誤	正
1	9-2 頁・7 行目	表 1 - 3	資料 1 - 3
2	9-5 頁・9 行目	資料 1 - 1 - 4	資料 1 - 1 - 4 - 1, <u>1 - 1 - 4 - 2, p 9 - 5 ~ 9 - 7</u>
3	9-13 頁・5 行目	p 9 - 5	p 9 - 5 ~ <u>9 - 7</u>
4	9-15 頁・5 行目	新規採択率は平均 44%	新規と継続の合計採択率は平均 44%
5	9-15 頁・6 行目	( <u>教員の現員数</u> ÷ <u>計画書提出数</u> × 100)	( <u>計画書提出数</u> ÷ <u>教員の現員数</u> × 100)